

大腸内視鏡ポリープ切除術後の 食事内容の検討

医療法人社団俊和会寺田病院

消化器病センター内視鏡技師/看護師 高内 修

医師 寺田俊明

社会福祉法人三井記念病院

医師 堀 孝吏

始めに

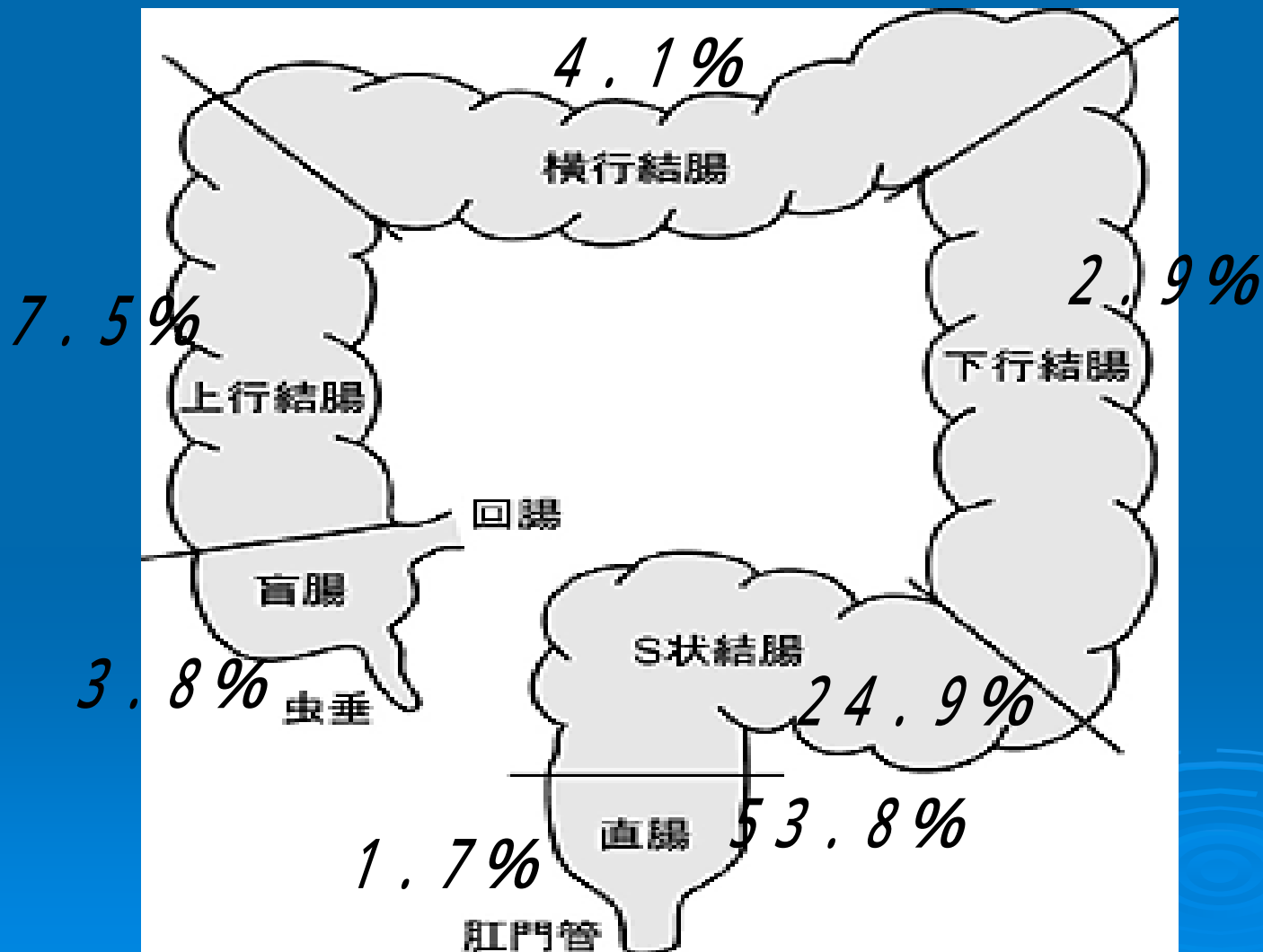
大腸内視鏡ポリープ切除術、すなわち内視鏡を使った手術の創部は、術後外観から観察することが出来ない盲目的な場所である。

合併症である出血を予防するため、電気メスやクリップで止血を行っている。

しかし、全国平均で0.1%の割合で術後出血を認めるとの報告もある。

いかに出血のリスクを少なくするか、また出血してしまった場合の処置を考える上で、術後の食事内容やどのような食事を食べて頂くのが良いか、これまでの経験を踏まえて検討したのでここに報告する。

大腸の各部の癌発生頻度



大腸内視鏡ポリープ切除術後の合併症

切除後出血 > 腸管穿孔

その他の合併症もあるかと思いますが、この2つが大半を占めます。(今回は切除後出血に着目しています)

100%合併症を防ぐのは不可能・・・万が一出血してしまったら・・・ではどうすれば？

大腸内に便が無い状態を持続させれば良い！

でもどうすれば・・・

便の生成がしにくい食事を取ることが出来れば・・・

献立の一般例

- 朝食～白粥・味噌汁
- 昼食～お粥or液状栄養食・吸い物
- 間食～飴・粉末飲料水・クッキー
- 夕食～ポタージュスープorお粥

1日分量(約)

熱量(Kcal):400～1200 蛋白質(g):12～22

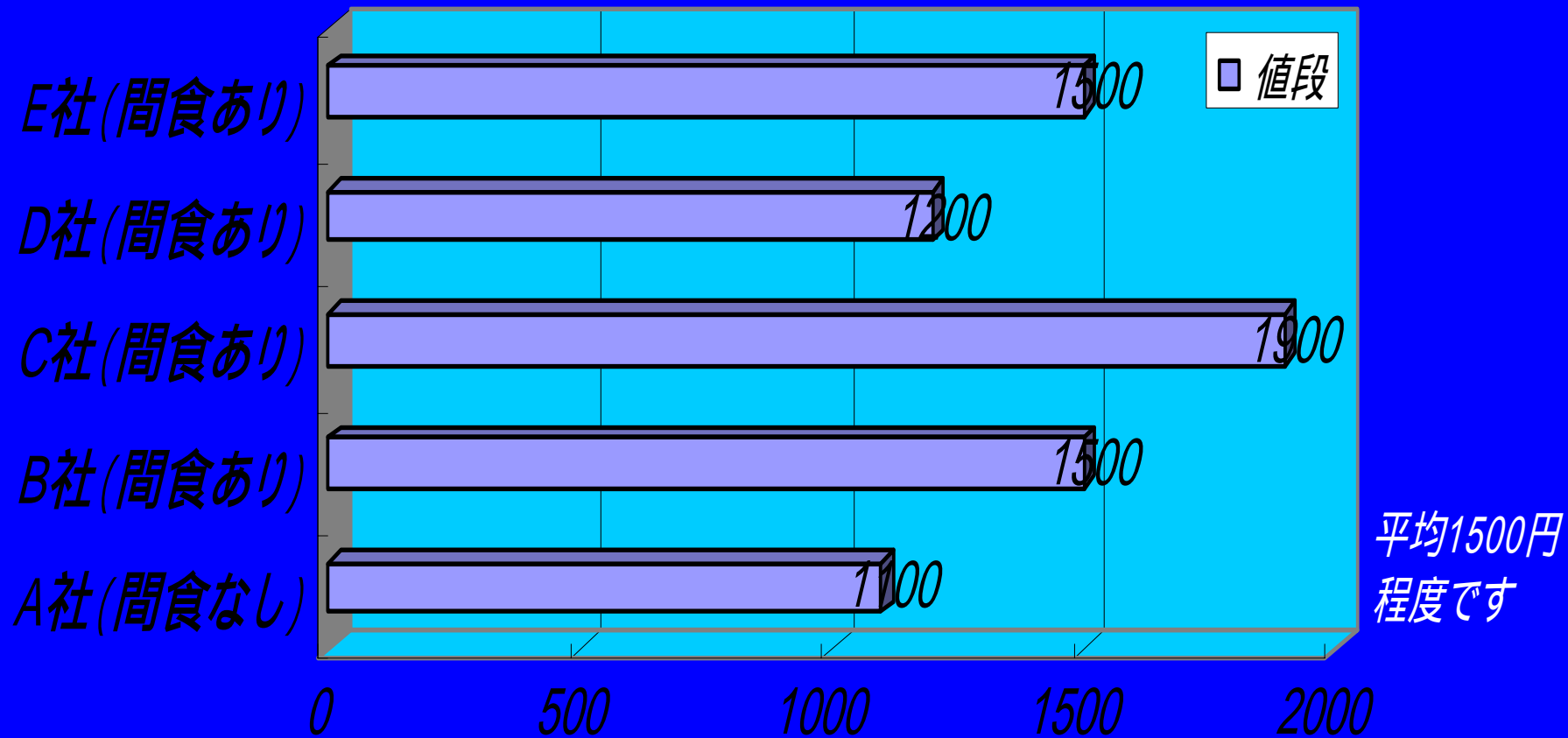
脂質(g):10～30 糖質(g):100～250

繊維(g):0.4～7 塩分(g):5～10

水分(g):200～600

賞味期限:1年

大腸内視鏡専用検査食値段表



考察

年齢、切除方法、病変の大きさ等により出血のリスクは様々である。

100%出血を起こさない事は難しいことだと思われるが、出血をした際の処置をいかに素早く、そして確実に出来るかがポイントとなる。

その為には、大腸内の環境(内視鏡視野)が確保出来なくてはならない為、術後の食事指導が重要なポイントである。

本来ならば大腸内視鏡検査前日に食べていただく専用食を大腸内視鏡ポリープ切除術後に食べていただくことで、万が一に備え便の生成をしにくくする方法が有用であると考えられる。

結語

食事内容によっては腸への刺激、排泄物の生成に大きく影響する。

万が一の出血を考えた上で、食事内容を制限することは有用であると考える。

しかしながら、仕事などの日常生活を送る上では食事制限をすることは多少の負担や煩わしさが伴う。

今回の検討を踏まえ、今後への検討課題として考えて行きたいと思う。